

市内の4人がめでたく百歳

市は、10月に満百歳を迎えた4人に記念品を贈り長寿を祝いました。

千田庄治郎さん(江刺区稲瀬Ⅱは、25歳で金ヶ崎町出身の故・ハシメさんと結婚。4男1女に恵まれました。石巻



10月18日 千田庄治郎さんと江刺総合支所長



10月20日 松本キミエさんと家族の皆さん

の水産加工場で働いた後、農業を継ぐため実家に戻りました。60歳ごろまでかやぶき職人をしていたほか、昨年の春まで牛の世話もしていました。デイサービスでは、計算ドリルで九九などもするそうです。松本キミエさん(水沢区中町Ⅱは、23歳で故・充助さんと結婚、1女をもうけました。髪結いから初めて、20歳から60歳ごろまで美容師として働き、多くの弟子と仕事に打ち込みました。旅行が好きで、よく国内を巡ったほか、近所の人たちとお茶飲みを楽しんでいました。

吉田ヨシノさん(水沢区姉



10月20日 吉田ヨシノさんと小沢市長

体町Ⅱは35歳で、故・胤雄さんと結婚。2男2女に恵まれました。昔から裁縫が好きで、着物の生地から子どもたちの洋服を作っていました。好き嫌いがなく「なる様になる」と日々穏やかに過ごすことが長寿の秘訣だそうです。吉田林蔵さん(前沢区生母Ⅱは、水沢区黒石で生まれ、23歳で故・キミ子さんと結婚。2男4女に恵まれました。米やたばこを栽培し、沿岸まで出稼ぎにも行きました。穏やかでほとんど怒らず、孫の世話もよくみていました。あんこやあめ、氷砂糖などの甘いものが好きだそうです。



10月25日 吉田林蔵さんと家族の皆さん

ウェイトリフティング全国優勝を報告



奥から艾君、佐藤君、後藤君、窪田さん、小野教諭

「ゆめ半島千葉国体」のウェイトリフティング競技で入賞した選手らが10月7日、小沢市長を表敬訪問しました。スナッチ少年94級で後藤清隆選手(岩谷堂高3年)が優勝し、56級で艾幸太選手(同2年)が4位入賞。また、85級で佐藤一選手(同3年)がトータル10位となったほか、成年105級で窪田智志選手(市体協)がトータル8位に入賞しました。

ふるさと暮らしを訪ねて7人が来奥

ふるさと暮らし発見ツアーが、10月23日から1泊2日で行われ、県外から7人が参加し、古民家見学や移住者との懇談などを通して、奥州市での生活に理解を深めました。市が主催したこのツアーには、田舎暮らしを考えている福島県や関東地方に在住する夫婦や友人グループなどが参加。移住者宅を訪れると、農作業や冬場の生活、交通手段などについて、次々と質問をしていました。

移住者の話に聞き入る参加者たち



市内各地で秋の物産イベント

記録的な猛暑だったことしの夏を乗り越えて迎えた恵みの秋、収穫の秋。10月16日から31日にかけて、市内5地区で物産イベントが開催され、どの会場も大勢の市民でにぎわいを見せていました。

いさわ商工秋まつりでは、地元物産品の展示即売やふる

さとパークの振る舞い、郷土芸能披露、歌謡ショーなどのイベントが繰り広げられました。初めて実施されたどじょうつかみ大会では、指の間からつると逃げるとどじょうを落とさないよう必死な参加者の表情が、来場者の笑顔を誘っていました。



①日本一のジャンボ鉄鍋による大芋の子会(水沢区)
②恒例の三輪車レース大会(江刺区)
③初の試みいさわどじょうつかみ大会(胆沢区)



斎藤實生誕祭で孫が講話

水沢区出身で総理大臣などを務めた斎藤實の生誕祭が10月24日、同記念館旧宅で開かれました。斎藤夫妻をしのぶ短歌の表彰や、孫の岡百子さん(83)が講話し、郷土の偉人の遺徳をたたえました。

百子さんは、實の好物がそうめんや酒寿司だったことや、なぞなどで遊んだことを紹介しながら万歳三唱で見送ったと当時を振り返っていました。

斎藤實の思い出を語る孫の岡百子さん



試験栽培米は生産コスト約6万円



もみの感触を確かめる佐藤組合長

農事組合法人アグリ笹森(佐藤功組合長)は10月13日、水沢区字笹森谷地内のほ場で試験栽培した低コスト多収穫米の収穫作業を行いました。米エタノール事業のために栽培した「べこあおば」や「つぶゆたか」の飼料米品種は、穂のもみ数が300粒程と食用米の約2倍に。肥料代などを抑えて10㌔あたりの生産費も6万円弱になり、食用米の10万円に比べ、低く抑えることができました。

下水道などの使用料賦課漏れのお詫び

このたび、下水道等使用料の賦課漏れが判明し、市民の皆さまに多大なご迷惑をおかけしていることを、心からお詫びします。

昨年度に判明した賦課漏れ原因は、単純な事務処理の誤りによるものですが、ことしに入り、合併前のものを含めた全件を現在調査しています。10月末までにその約6割の調査を終え、これまでに判明した賦課漏れ件数は47件、賦課漏れ総額は811万円となっています。

また、このような中で本年度の使用料についても、料金システムの誤りによる賦課誤りが判明しました。市は、このような事態を非常に重く受け止め、事務処理体制を改めるとともに一連の業務の改善を進め、再発防止と信頼回復に努めてまいります。

■問い合わせ 本庁下水道課(内線538)